

光と音に心が躍る

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2023

9

令和5年9月1日

No.718

流灯花火大会



この夏、大切な人と見た
夜空を忘れない



8月15日(火)、第94回流灯花火大会が開催されました。先祖供養のため、約300発の花火が久慈川サイクリングロードで打ち上げられ、夜空を彩りました。灯籠流しは、今年も中止となりましたが、道の駅はなわ周辺は、町民の皆さんはじめ、多くの人々で賑わいました。

ふくしまの元気発信プロジェクト



伏見稻荷大社楼門前で記念撮影

このご縁は難聴でも太鼓なら合奏できると、和太鼓部の演奏をYouTubeで見ると、同じ曲を演奏したいと4年前にご連絡があったことがきっかけで、楽譜の提供や太鼓を寄贈するなどの交流が続けてきましたが、実際に訪問したのは今回が初めてです。

8月2日(水)から5日(土)まで、白河実業高等学校校舎の和太鼓部と生徒会役員、計13人は、大阪・京都・神戸各市で『ふくしまの元気発信プロジェクト』を行いました。県の復興をPRする社会体験活動を通じ、自ら考え判断し行動を起こすことで新しい福島を担う人材育成を目的とした県教育委員会のプロジェクトです。

8月2日(水)は、神戸市の人と未来防災センターで阪神淡路大震災の学習後、大阪道頓堀でPR活動を行いました。

8月3日(木)・4日(金)の午前は、京都市立二条中学校と和太鼓の練習を行いました。同校聴覚障害学級は毎年文化祭で和太鼓発表を行っており、今年は1〜3年生までの7人が発表するため、和太鼓部が2曲の習得に協力しました。

福島の復興への想いを伝える



二条中の生徒(前列)と記念撮影



伏見稲荷大社外拝殿で奉納演奏



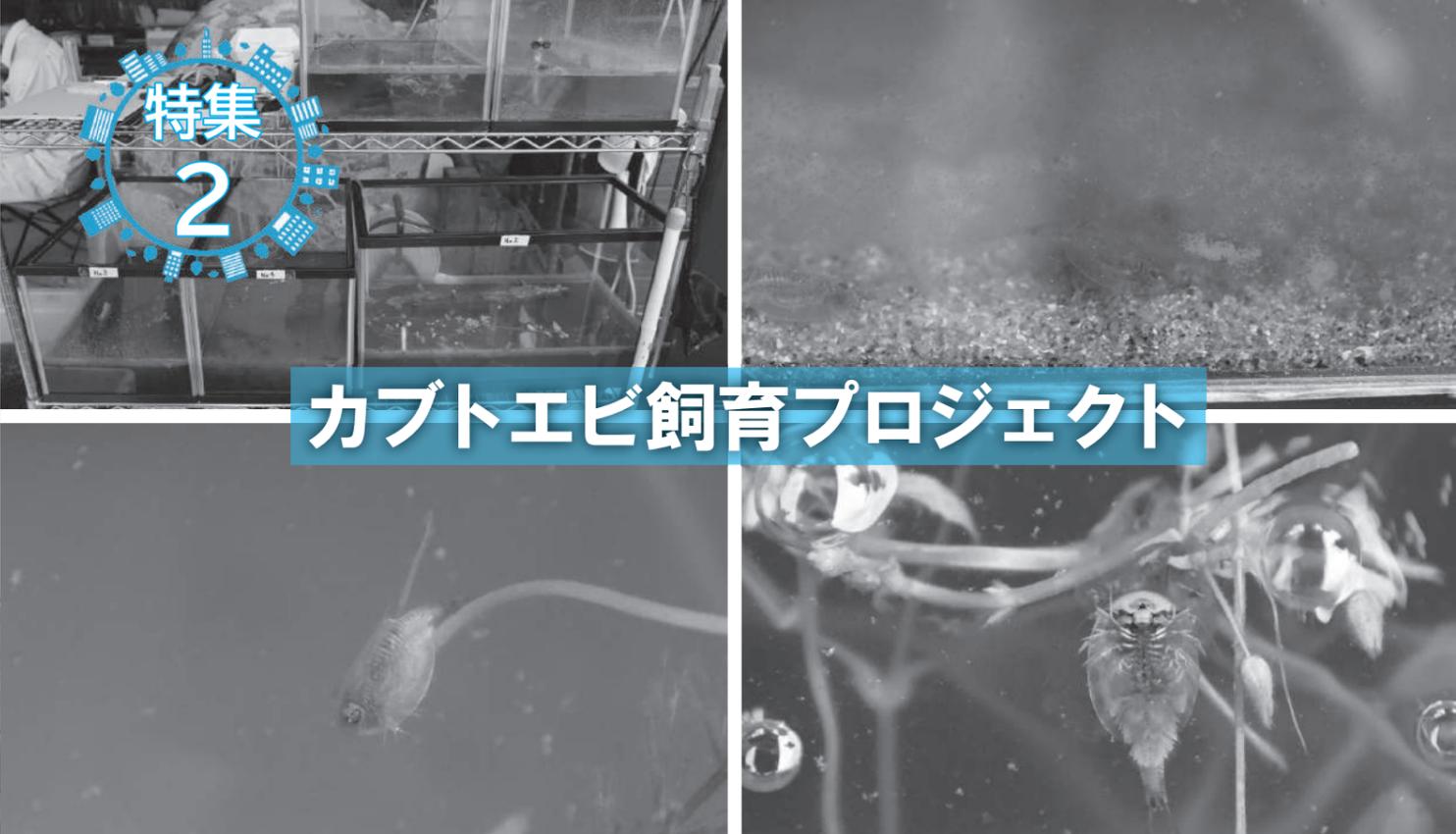
清水寺境内で奉納演奏

交流活動では、町のダリアや桃を寄贈し、聴覚障がい学級の皆さんの話を伺いました。障がいや前向きに捉え、周囲が変わるのを待つのではなく自身が変わる必要性を感じており、その志の高さに、本校生は大いに刺激を受けました。

8月3日(木)の午後は、伏見稲荷大社(京都市)で奉納演奏とPR活動を行いました。拝殿での御祈禱の後、大変な暑さの中、国の重要文化財、外拝殿の上で8年ぶりに和太鼓演奏を奉納しました。

4日(金)は、京都市の錦市場や嵐山でPR活動を行ったあと、清水寺でも8年ぶりに奉納演奏を行いました。両日とも天候に恵まれ、訪日外国人をはじめ多くの観光客から賞賛の声が寄せられました。

5日(土)は、ひらかたパーク(牧方市)でPR活動を行ったあと、帰路につきました。今回のプロジェクトは、家族や仲間、ご支援いただいた皆さん、旅先で出会った方々など、多くの人々に支えられ、生徒たちが今後の人生を歩むうえで、貴重な経験を積むことができました。



カブトエビ飼育プロジェクト

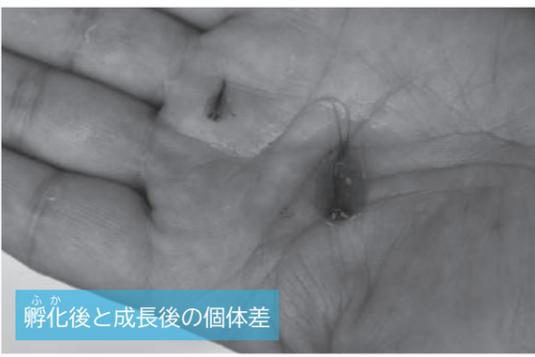
水槽で飼育されているカブトエビ

水田で水稻を生産する作業のひとつに『除草』があります。人力による除草は大変な作業なので、除草剤が広く使用されています。環境にやさしい農法などありますが、より手間がかからずに低コストで環境に優しい除草手段の一つとして『カブトエビ』農法が期待されています。『カブトエビ』が水田の除草をする仕組みは、直接雑草の幼芽を食べたり、泥を掻き上げることで、日光が遮断され、雑草の発芽を抑制することにより実現します。

町は、『カブトエビ』が水田の除草作業に役立つ可能性があることから、その調査研究をしている農家を支援しています。

皆さんは『カブトエビ』という生物を知っていますか? 2〜3cmくらいの大きさで、6月〜8月位の期間に水田などで見られる小さな生き物です。生きた化石ともいわれ、先祖は2億年以上前の三葉虫ともいわれています。

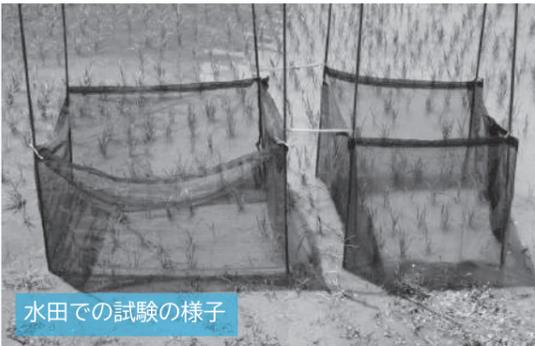
カブトエビの調査研究を支援



孵化後と成長後の個体差



成長したカブトエビを水田に放流します



水田での試験の様子

埴町で研究している『カブトエビ』は、山形県の南陽市で偶然見つかった個体を、栃木県益子町の農家が地域で定着させている個体です。この個体が含まれている水田の土を分けてもらい、そこから調査研究が始まりました。資料を基に試行錯誤を重ねた結果、『カブトエビ』の孵化は22℃前後が最適で、18℃以下や25℃以上では孵化率が下がることが分かりました。最適な条件下では、水を投入後4日目頃から孵化し、孵化後4日目頃から除草効果が認められ、40日〜60日目まで生存することがわかりました。これらは水槽での飼育結果なので、すぐに農業の現場で生かせる状況ではないですが、カブトエビの人工的な増殖は可能であり、卵を増殖し、効率的に回収すれば、卵を水田に散布することができ、除草に効果がある可能性を見いだすことができます。

町では、これからも意欲をもって新たなことにチャレンジする生産者を応援していきま

夏休み森林教室 in 矢祭町



ピンまで届け!!



ナイスショット!!



ゆっくりゆっくり進みました



マナビイはなわ

埴町生涯学習だより 9月号

★9月なかよしルーム参加者募集★

- 内容: 遠足
~きれいなダリアと写真撮影~
- 日時: 9月15日(金)
午前9時30分~11時30分
- 場所: 湯遊ランドはなわダリア園
埴町営体育館駐車場集合
→バスで移動
※雨天時、室内遊び
(埴町公民館2階和室)
- 持ち物: 飲み物
- 申し込み期限: 9月8日(金)
- 申し込み先
埴町公民館 ☎43-0320

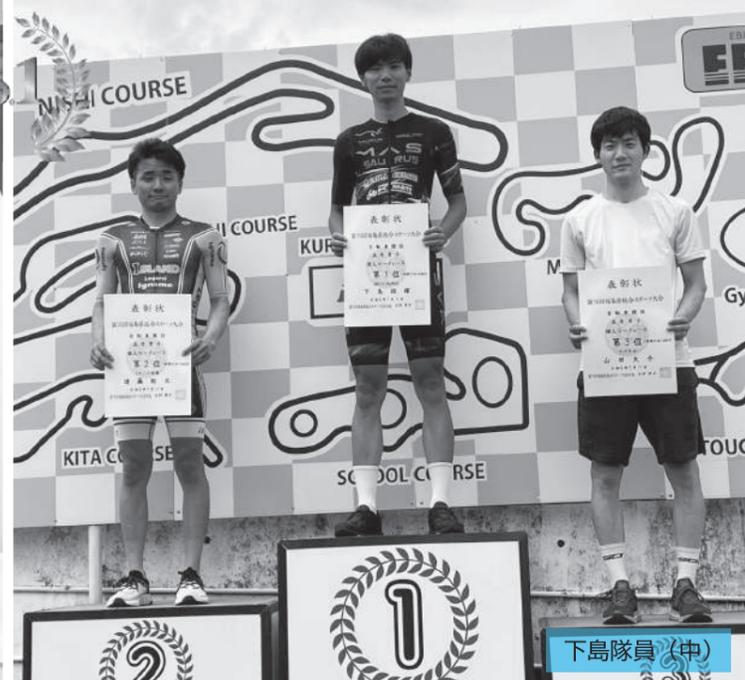
■問い合わせ先
生涯学習課
埴町公民館 ☎43-2644
☎43-0320

8月2日(水)、矢祭町の矢祭山友情の森で、郡内の小学生と高校生ボランティア、事務局職員など約120人が参加し「夏休み森林教室in矢祭町」が開催されました。
同教室は、自然とふれあい、森林のたらしきや森林整備の必要性を感じること、を目的に、毎年開催されています。
森林散策では(2点間に張り渡した)ベルト状の紐の上を、バランスを取りながら歩く「ストラックライン」や、木の棒を投げて「スキットル」と呼ばれる12本のピンを倒し、点数を競うゲームなどを体験し、森林に関するクイズや自然観察を行いました。活動は午前中いっぱい行われ、児童たちは元気いっぱい森林体験を楽しみました。
来年は埴町で開催されます。



地域おこし協力隊 活動記録

西尾隊員(右)



下島隊員(中)

7月1日(土)、2日(日)に行われた「警務吾妻スカイラインヒルクライム」に町のPR活動を行いました。
1日目は設営スタッフを兼ねて町のPR活動を行いました。2日目、急遽運営側から「せっかくなのでプロ選手が来ているのだから走ってもらいたい」と言われたので、町のPRにつなぐがらと思い、男子アスリートクラスに参加することにしました。
コースは上り坂が多く町内のコースと似ており、ゴールまで楽しみながら走れたうえに、全体のトップタイムで優勝することができました。
プロ選手の威厳を保ちながら、町のAPIにも繋げることができて良かったです。

楽しみながら走ることが良い結果につながりました

西尾勇人隊員アスリートクラス優勝

7月11日(火)に開催された、第76回福島県総合スポーツ大会の成年男子個人ロードレースで優勝することができました。
二本松市のエビスサーキットで開催された今大会は、アップダウンが多く完走者が少ない厳しいレースです。普段から起伏に富んだ町内の道を走り慣れているため、自分からレースを動かして、接戦に持ち込めたことが良い結果につながったと思います。
優勝により、8月18日(金)から20日(日)にかけて岩手県紫波町で開催される、第50回東北総合体育大会に福島県代表として出場することが決まりました。埴町を代表して走れる喜びを噛み締め、精一杯走ります。

接戦に持ち込み、優勝することができました

下島将輝隊員個人ロードレース優勝



15日(火)に参加された皆さん



12日(土)に参加された皆さん

はなわスポーツクラブ通信

★今後のスケジュール★

- 10月ノルディックウォーキング教室
場 所: 矢祭町内
日 時: 10月9日(祝・月)
参加費: 会員 [無料]・非会員 [500円]
- グラウンド・ゴルフ教室記録会
場 所: 埴町営野球場
参加費: 会員限定 [参加費100円]
- 問い合わせ先
NPO法人はなわスポーツクラブ
埴町大字埴字桜木町80 (埴町営体育館内)
メール hanawa.fcs@gmail.com
http://hanawa-fsc.jp
☎0247-57-6589 FAX 57-6587

カヌーを思いっきり楽しみました

8月12日(土)、15日(火)の両日、埴町営体育館下の川上川で、カヌー教室を開催しました。12日(土)は年少から中学1年生までの子どもたち13人と保護者8人、関係者9人の総勢30人、15日(火)は、年少から中学1年生までの子どもたち4人と保護者4人、関係者8人の総勢16人が参加しました。
子どもたちは、講師の当クラブ運営委員の八幡正寿さんにパドルの使い方やこぎ方、カヌーの乗り降りの指導を受け、カヌーを体験しました。参加したほとんどの子どもたちは、カヌーに乗った経験がありませんでしたが、両日ともに当初予定されていた時間を1時間延長して、カヌーを思いっきり楽しみました。



上り坂を軽快に走り抜けるハヤティ



曲がり角を疾走するシモジマン

にしお はやと (ハヤティ・左)
北海道出身の29歳。
2016年からプロロードレーサーとして活動中。
今年3月から埴町に移住し、プロ選手のキャリアを生かしながら、町や自転車の魅力を発信している。



しもじま まさき (シモジマン・右)
兵庫県川西市出身の30歳。
2020年まで5年間プロロードレーサーとして活動した後、夫婦で埴町に移住。動画投稿サイトはじめ、SNSで埴町の魅力を世界中に発信している。

今回は、西尾隊員とともに好結果を出すことができました。改めて埴町はサイクリストにとって、魅力的な町であることを実感しました。次の走る機会にも、「自転車まち埴町」というイメージをたくさんの方に知ってもらえるよう優勝目指して頑張ります。



健康推進だより 98

9月24日(日)～9月30日(土)は 結核予防週間です

■結核は、過去の病気ではありません

福島県内では、令和4年に117人の方が新たに結核を発症しています。県南地域では、令和3年・4年と2年続けて患者数が増加しています。結核は、人から人うつる病気で、気づかぬうちに感染が広がってしまうことがあります。6カ月間毎日きちんと薬を飲めば治る病気なので、早期発見、早期治療が重要です。

■発見されにくい高齢者の結核 ～65歳以上の方へ～

65歳以上の方は、結核の健康診断を受診する義務があります。年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう(咳・タンなど目立った症状が現れにくいのが、高齢者の結核の特徴です)。

■生後1年までにBCG接種を受けましょう ～赤ちゃんがいるご家庭へ～

BCGは、結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。生後5～8か月に、必ずBCG接種を受けましょう。

■結核検診(胸部レントゲン検査)の申し込みを受け付けます ～塙町総合検診～

実施期間：9月25日(月)から10月6日(金) (9月30日(土)除く、10月1日(日)は実施)
お申込み：健康福祉課 健康推進係まで電話でご連絡ください。
結核検診料金：無料

■お申込み先 健康福祉課 健康推進係 ☎43-2115

東北の小京都 たなぐら

秋のおすすめスポット

棚倉町は、陸奥一宮である馬場都々古別神社と、奥州一宮である八槻都々古別神社の2つの一宮が現存するなど、多くの神社仏閣が残る情緒あふれる城下町です。秋には美しい紅葉を楽しむことができます。今回は、秋のおすすめスポットと町内の和菓子をご紹介します。

この記事は八溝山周辺地域
定住自立圏の連携事業です

平成26年1月、栃木県(大田原市・那須塩原市・那須町・那珂川八溝山周辺地域)・福島県(棚倉町・矢祭町・塙町)・茨城県(大子町)の2市6町による『八溝山周辺地域定住自立圏』が形成されました。圏域の地域活性化につなげる取り組みの一環として、圏域市町のPR情報をお届けします。



Photo:芳賀元昌

棚倉城跡(大字棚倉字城跡) 国指定史跡

秋には、お堀を囲むように木々が色鮮やかに紅葉し、美しく飾られる城跡が楽しめます。また、追手門跡付近に佇む推定樹齢640年の大ケヤキは、棚倉町のシンボルとなっています。



棚倉町シンボルキャラクター「たなちゃん」

お問い合わせ
棚倉町観光協会
☎0247-33-7886

山本不動尊

(大字北山本字小檜沢 94-2)
山本不動尊の「もみじ参道」は、駐車場から護摩殿までの紅葉のトンネルを楽しめます。カメラを構える観光客も多く訪れます。



八槻都々古別神社

(大字八槻字大宮 224)

本殿の朱塗りが今も残る「八槻都々古別神社」は福島県を代表する奥州一宮です。落ち着いた空気が満ちあふれ、美しいイチョウの絨毯が楽しめます。



城下に残る たなぐらの和菓子

いちごの甘味が
口いっぱい広がる
いちご大福



甘盛堂
(棚倉字新町 86)
☎ 0247-33-3056
営 8:30～19:00
休 火曜日
※祝日などで定休日が変わる場合があります。

生のブルーベリーが
ごろっと入った
ブルーベリー大福



玉屋菓子店
(逆川字向原 52)
☎ 0247-33-6715
営 9:00～18:00
休 第1・第3日曜日
※ブルーベリー大福の販売は、9月上旬までです。

自家製あんたっぷりの
奥州山本不動まんじゅう



栄屋菓子店
(棚倉字西中居 29-5)
☎ 0247-33-2381
営 8:30～18:00
休 不定休

松茸の香りが
ほのかに香る
まつたけ最中



おばまや
(寺山字亀崎 4)
☎ 0247-33-5825
営 8:00～18:00
休 不定休
※確実に購入したい場合は事前予約をお願いします。

図書館からのお知らせ

9月の
テーマ



「がまばあさん」
マツ カズコ/文・絵
ハッピーオウル社

おじいちゃん・おばあちゃんの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。その中から2冊の本を紹介いたします。
なお、読みたい本が貸し出し中の場合は予約もできません。

●ものがたり

むかし魔法使いの弟子だった、とんでもなく意地悪好きながまばあさんがいました。洗濯物をぬらしたり信号のボタンを渡らないのに押し回したりして、皆を困らせています。そんな、がまばあさんが見つけた本当の魔法の言葉とは？

【図書館の開館・休館情報9月】

■開館時間 火曜日から土曜日・午前10時から午後7時まで
日曜日・祝日・・・午前10時から午後5時まで
■休館日 4日(月)、8日(金)から14日(木)、19日(火)、25日(月)
※8日(金)から14日(木)は蔵書点検です。

新刊案内



「この夏の星を見る」

つじむら みづき
辻村 深月/著
角川書店

●内容

新型コロナウイルス感染症により生活が一変した2020年。さまざまなことが制限され、当たり前前の日常を奪われた学生たちが天文を通して絆を紡いでいく物語。

Pick up



ヤマメを夢中でつかみとる子どもたち

夢中でヤマメを追いかけてきました

8月5日(土)、川上親水公園で、埴町青少年育成町民会議笹原地区推進協議会の主催による川上溪流釣り大会「ちびっ子魚つかみどり」が行われ、たくさんの方が参加しました。早朝、役員によって150kgのヤマメが放流され、10時の開始の合図とともに、待ちかねた子どもたちが歓声を上げながら川に入りました。そして、ずぶぬれになりながら、ヤマメを追いかけ、次々につかみ上げては、満足そうな笑顔を浮かべ、つかみどりを満喫しました。

8月3日(木)、役場応接室で、県中学校体育東北大会へ出場する選手への奨励金贈呈式が行われました。式には埴中学校から3選手が出席し、秦教育長から選手1人1人に奨励金が手渡されました。先月開催された県中学校体育大会で、深野大地選手(3年)は柔道競技50kg級で3位、落合太陽選手(3年)は水泳男子200m背泳ぎで第2位、100m背泳ぎで第4位、石黒葉音選手(1年)は水泳女子個人メドレー第4位と、それぞれ好成績を収め、東北大会への切符を手に入れました。東北大会は、柔道競技が8月7日(月)から9日(水)まで秋田県立武道館、水泳競技が8月6日(日)から8日(火)まで郡山しんきん開成山プールで開催されました。



左から秦教育長、深野大地さん、落合太陽さん、石黒葉音さん

ベストを尽くすことを誓いました



渡辺さんの話を真剣に聞きいる児童たち

人と人のつながりの大切さを学びました

7月11日(火)、埴小学校で、NPO法人富岡3・11を語る会の渡辺好さん(富岡町)を招き、6年生児童を対象に、東日本大震災について学ぶ授業が行われました。富岡町は、震度6強の地震と21メートルの津波に襲われ、24人の尊い命が失われました。渡辺さんは、震災前後の富岡町の様子や郡山市での避難生活の様子をスクリーンで紹介し、自身の体験、現在の心境、復興への想いをわかりやすく伝え、児童たちは真剣な表情で耳を傾けました。授業の最後には、『共助』の大切さ、『人と人のつながり』が命を救うこと、震災について『知る』『こと』『学ぶ』こと、ともに『考える』人が増えていくことが復興の支えになることを伝えました。

こども支援室通信No. 4

問い合わせ先 埴町教育委員会 学校教育課こども支援室
☎43-4050 / FAX43-1883

まわりの人とあたたかな人間関係をつくるために

7月27日(木)、放課後児童健全育成施設(旧埴幼稚園)で、学童クラブに参加する児童を対象とした『人権教室』が行われ、3年生から6年生までの児童21人が参加しました。『人権』についての意識や興味、関心を高め、これからの社会生活で生かせること目的に実施されたもので、町人権擁護委員が講師を務め、はじめに『人権』についての講話が行われました。その後、3グループに分かれ『人権かるた』取りが行われました。『人権かるた』には、かるたの言葉から身近な人権問題に気づき、自らの行動を通して、まわりの人とあたたかな人間関係をつくってほしいという願いがあります。子どもたちは楽しみながら人権について学びました。



子どもたちは、読み上げられた絵札を一生懸命、探しました

埴町赤十字奉仕団 地域で災害に備えよう



棚倉消防署埴分署職員による応急手当の研修

炊き出し訓練といのちを守る講習会

7月24日(月)、台宿農業構造改善センターで、町赤十字奉仕団が主催の『いのちを守る講習会』が行われ、埴町赤十字奉仕団委員と高城地区団員、台宿1区・台宿2区の区長さん計27人が参加しました。

火災、震災、その他の災害に備え、地域住民と福祉施設などの災害救援ならびに生活支援を行なうボランティア活動を学ぶことを目的に実施されました。

炊き出し訓練では、包装食袋を使って、松茸ごはん風炊き込みご飯・コーヒー寒天・サラダの3品の非常食調理を体験しました。

そのあと、棚倉消防署埴分署職員が講師となって、救急車が来るまでの応急手当の研修を行いました。



包装食袋を使った炊き出し(左) / 非常食調理を体験する参加者



一打、一打、真剣にクラブを振る選手の皆さん



7月30日(日)、町営野球場・運動場で、県南支部長杯ゲートボール選手権大会が開催されました。第40回県ゲートボール選手権大会県南支部予選を兼ねており、町内16チーム91人が出場しました。

成績は以下の通りです。
優勝Ⅱ板中、準優勝Ⅱ西野、3位Ⅱ渡瀬B、4位Ⅱ県南ジュニア、5位Ⅱ真名畑、6位Ⅱ西山

上位のチームは9月24日(日)に信夫ヶ丘運動公園で開催される県大会に出場します。

熱戦が繰り広げられました



教室に参加されている皆さん

8月2日(水)、埴農村勤労福祉会館で、町が主催の高齢者の介護予防を目的とした介護予防教室『楽らく元気アップ教室』最終講座と閉講式が開催され、11人が参加しました。

講座に参加した皆さまからは「運動が苦手な運動不足なので参加した」「教室で学んだことを生かし、健康を維持していきたい」「自分自身が若返っていく感じがする」「教室に参加後、帰宅するたびに体の調子が良くなっていることが実感できる」などの声が聞かれました。

全6回の講座が終了しました



鮎釣りを楽しむ親子

8月6日(日)、久慈川河川敷(埴小学校前)で、ふくしま県南子供未来応援会が主催する夏休み親子鮎釣り体験教室が、親子14組が参加し、開催されました。

宮田町長は「埴町を流れる久慈川は鮎釣りに最適です。来年もぜひ開催していただきたい」と挨拶しました。

子どもたちはバケツに入った鮎を放流した後、約2時間、インストラクターのアドバイスを受けながら、鮎釣りを楽しみました。

親子で鮎釣りを楽しみました



参加者の皆さん



8月6日(日)、毎年恒例の埴町婦人会と埴町商工会女性部合同による環境整備奉仕作業が、道の駅ななわで、約30人が参加し行われました。

参加者は、駐車場内外の花壇周辺の草刈りや、施設近くの歩道のゴミの回収などの作業をしました。作業終了後、佐藤光一町長は「とてもきれいになり、帰省される方は気持ちよく利用できます」と感謝の言葉を述べました。

ゴミのないきれいなまちを目指して



委員会の様子



7月19日(水)、埴農村勤労福祉会館で、町固定資産評価審査委員会委員への辞令交付式が行われました。

宮田町長が委員に辞令を手渡し、「税金のために大切な仕事であり、これからもお力添えいただきたい」とあいさつしました。

引き続き、委員会が行われ、委員長に金澤正人さん、職務代理者に小峰栄良さんが選出されました。

任期は7月19日から令和8年7月18日までです。

委員へ辞令が交付されました



説明を受ける保健推進員の皆さん

7月28日(金)、町防災センターで、保健推進員の第2回研修会が行われ、20人が参加しました。

はじめに、町の子どもの食生活とむし歯の状況、令和5年度の食育教室についての説明があり、続いて、子どもたちへの『カメラカメラとくち30回』普及活動についての意見交換が行われました。『カメラカメラとくち30回』はよくかむことにより『認知症予防』、『イライラ防止』、『胃腸の負担軽減』、『歯周病・口臭予防』、『肥満予防』などに効果が期待されています。

今年度は『はやねはやおきあそこはんくカメラカメラとくち30回』のテーマで、10月と11月にはなわこども園、笹原幼稚園、子育てサロンで食育教室が行われます。

子どもたちの食事・むし歯や食育について話し合いました



タブレット端末の操作を学ぶ参加者

7月28日(金)、埴町農業委員会は、農村勤労福祉会館で、会員の活動充実を目指し、タブレット端末導入に向けた研修会を開催し、委員と農地利用最適化推進委員約30人が参加しました。

小松孝行会長は「現地調査などで活用し、作業を効率化したい」とあいさつしました。

研修では、タブレット端末の操作や現地確認用のアプリの使い方について説明がありました。

委員の中には、タブレットを操作すること自体、初めての人が多く、戸惑う人もいました。

導入により、今後はパトロール、現地調査、農地利用状況調査などの利便性向上を図っていきます。

タブレット端末の操作について学びました



下島隊員の解説を熱心に聞き入る参加者の皆さん



7月29日(土)、地域おこし協力隊下島輝輝隊員と西尾勇人隊員による第4回サイクル教室が開催されました。参加者は、県内と茨城県から、前回の参加者2人と新たに参加した2人でした。

今回は、ブレーキのかけ方、コースなどの道の曲がり方、登り坂の楽な登り方を実践しながら、わかりやすく解説しました。

新規参加者は「解説がわかりやすい」「これを機に練習してもっと上達したい」と感想を述べました。

プロのサイクリストの技を学びました

情報

◆埴町役場の電話番号(代表)
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116
◆町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
◆町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】
総務課 43-2111
町民課 43-2113
健康福祉課 43-2115
(高齢者支援係) 43-2227
地域包括支援センター 43-2224
農林推進課 43-2118
まち振興課 43-2112
まち整備課 43-2117
生活環境課 43-2148
会計室 43-2149
議会事務局 43-2150
農業委員会 43-2119
学校教育課 43-4050
生涯学習課 43-2644
公民館 43-0320
あぶくま高原美術館 42-2510
図書館 43-0808
学校給食センター 43-0188
はなわこども園 57-8700
笹原幼稚園 43-0601
東白衛生組合 43-0378

国民健康保険被保険者証が新しくなります

健康福祉課 国保係

国民健康保険被保険者証(以下「保険証」)の有効期限は、9月30日(土)までです。10月から使用する保険証は、同じ世帯員の保険証を一つの封筒にまとめて、9月下旬に郵送します。

10月から病院などを受診するときは、今回郵送する保険証(緑色)をお使いください(届いた保険証の記載事項に誤りがある場合には、下記までご連絡ください)。

なお、高齢受給証(水色)は変更ありませんので、引き続き、お使いください。期限の切れた保険証(茶色)は、誤使用や詐欺被害を防ぐため、役場窓口に戻却するか、ご自身で破棄してください。

■問い合わせ先 健康福祉課 国保係
☎43-2115



新しい緑色の被保険者証

マイナンバーカードの申請・受け取りはお早めに

町民課 住民係

平成28年1月から利用が始まったマイナンバーカードは、利活用の範囲の拡大やマイナポイント事業により、当町では約8割の方がカードを取得しています。暮らしを便利にする点として、

- 顔写真入りの本人確認書類として利用できる
- 全国のコンビニで住民票の写しなどが取得できる
※市区町村によってサービス内容が異なります。埴町では今年度導入予定
- 健康保険証としても使える
※別途利用申し込みの手続きが必要です
- スマートフォン、パソコンを利用して、オンラインで確定申告ができる
スマートフォン、パソコン、郵便、証明用写真機による申請のほか、役場窓口での申請も可能ですのでぜひお早めに取得ください。

また、平日の申請・受け取りが困難な方を対象に休日に受け取ることができますので、積極的なご利用をお待ちしています。

■問い合わせ先 町民課 住民係 ☎43-2114

水道メーターを交換します

生活環境課 上下水道係

水道メーターは、使用水量を適正で正確に計量するため、有効期間が8年と定められています。有効期間が満了する水道メーターについては、該当する自宅を訪問して交換します。交換対象メーターは有効期間が令和6年1月から12月までのものです。水道メーターの交換費用は「無料」です。

- 交換予定期間 9月から12月まで
- 交換業者 町指定給水装置工事業者
- 交換作業について 作業の際、一時水道を停止しなければなりませんので、ご協力をお願いします
- 問い合わせ先 生活環境課 上下水道係 ☎43-2148

住宅・土地統計調査にご協力ください

まち振興課 地域づくり係

総務省統計局・埴町では、10月1日現在で「令和5年度住宅・土地統計調査」を実施します。この調査は、住宅活に関する最も基本的で重要な調査で、全国約340万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

調査をお願いする世帯には、9月下旬から調査員が調査書類の配布に伺いますので、インターネット回答のほか、紙の調査票を郵送または調査員に提出する方法によりご回答をお願いします。なお、この調査は、便利なインターネット回答をおすすめしています。

スマートフォン・タブレット端末でも回答できますので、ぜひご利用ください。

■問い合わせ先 まち振興課 地域づくり係 ☎43-2112

インボイス制度に関する説明会を開催します

白河税務署 法人課税部門

白河税務署では、事業者の方を対象に、消費税のインボイス制度に関する説明会を開催します。

- 日時 9月14日(木)
 - ・課税事業者向け 午前10時から午前11時
 - ・免税事業者向け 午後2時から午後3時まで
- 説明会終了後、登録要否相談会(個別)を行います。
- ※説明会および登録要否相談会への参加は、事前申込が必要です。

■場所 白河税務署1階会議室(白河市中田5-1)

■問い合わせ先 白河税務署 法人課税部門
☎0248-22-7128

自衛官募集中です

自衛隊福島地方協力本部

- 【自衛官候補生】
- 応募資格 18歳以上33歳未満の男女
- 受付期間 一年を通して受け付けています。
- 試験の期日・場所 受付時にお知らせします。
- ※自衛官候補生とは 入隊後3カ月間、自衛官候補生として必要な基礎を学び、教育後、正式に自衛官に任用される制度です。

- 【一般曹候補生】
- 応募資格 18歳以上33歳未満の男女
- 受付期間 11月30日(木)まで
- 試験期日 1次 12月9日(土)~14日(木)
2次 令和6年1月6日(土)~14日(日)
- 試験会場 受付時にお知らせします。
- 入隊時期 令和6年3月下旬から4月上旬
- 問い合わせ先 自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所
☎0248-24-0372

司法書士による成年後見相談会のお知らせ

福島県司法書士協会

福島県司法書士協会では、司法書士による成年後見相談会を開催します。高齢者・障害者に関わる法律問題や、遺産分割・相続・遺言・贈与・終活など、お気軽にご相談ください。

- ※相談会への参加は、事前申込が必要です。
- 日時 10月5日(木) 午後5時から午後8時まで
- 場所 マイタウン白河(白河市本町2)
- 問い合わせ先 福島県司法書士協会 ☎0120-81-5539

おくやみ申し上げます

7月16日から8月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
菊池 強 さん	65歳	桜木町
鈴木 啓子 さん	75歳	那倉
鈴木恵美子 さん	76歳	大町
神永 英昭 さん	71歳	山形
藤元ウタコ さん	87歳	東河内
八幡タマ子 さん	85歳	片貝
圓谷 ハツ さん	97歳	栄町
吉成アツ子 さん	87歳	植田
上妻 キエ さん	84歳	西河内
堀 一夫 さん	71歳	片貝
深谷トシ子 さん	94歳	上石井
藤田 ツヤ さん	96歳	植田

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口に申し出てください。



不審な電話にご注意ください!!



「あれ?おかしいな」と思ったら
白河市消費生活センター
☎0248-22-1133

埴町役場まち振興課
☎43-2112

入札情報



※お知らせの情報は、掲載時刻の情報が変更・延期されることがあります。詳しくは各実施団体にお問い合わせください。

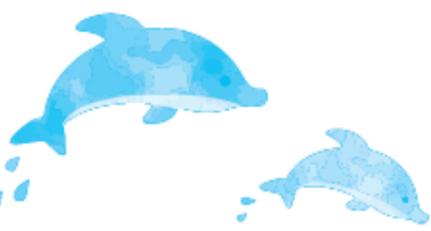
Summer Snap



白河実業高等学校塙校舎
8月2日(水)～5日(土)ふくしまの元気発信プロジェクト



8月5日(土)川上溪流釣り大会～ちびっ子さかなつかみどり～



みんなの
熱い夏は
まだまだ
終わらない



8月13日(日)植田地区納涼盆踊り大会

こども園(保育部)
8月2日(水)スイカ割り





「埴町ゼロカーボンシティ」を宣言しました

埴町は、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として、主体的に取り組んでいく事を宣言しました。

ゼロカーボンシティとは

脱炭素社会の構築に向けて、2050年までに二酸化炭素または温室効果ガスの排出量を実質ゼロであることを証明した自治体を「ゼロカーボンシティ」と呼んでいます。また、実質ゼロとは、二酸化炭素の排出量と森林などで吸収される吸収量が等しくなり、計算上、二酸化炭素排出量が実質的に「ゼロ」となる状態のことです。

埴町ゼロカーボンシティ宣言文

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、国内外で甚大な自然災害が頻発しています。本町においても、強力な台風や集中豪雨により浸水被害が発生するなど、町民生活に大きな影響が及んでいます。このまま地球温暖化に歯止めがかからなければ、気候変動リスクはさらに高まり、一層大きな災害が起こることが懸念されています。

地球温暖化を抑制し、気候変動リスクを低減するためには、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量削減に取り組むことが必要です。2018年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の特別報告書において「地球の平均気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

そのためには、地球温暖化の問題について、私たち一人ひとりが強い危機感を持つとともに、問題解決の当事者であることを自覚し、環境に配慮した取り組みを進め、地域社会や地球が直面する課題を克服していくことが必要です。

町面積の80%を森林が占める自然環境が豊かな埴町は、山(さん)・水(すい)・花(か)を町の財産として、守り育てる施策を展開してきました。埴町は、このかけがえのない財産を将来世代に引き継ぐために、町民、事業者、地域、行政が力をあわせて、町の財産を生かしながら、地球温暖化対策と地域経済の好循環を推進することにより、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロのまち」の実現に向けて、全力で取り組むことをここに宣言します。

令和5年8月7日

埴町長 宮田 秀利

こんにちは赤ちゃん

7月16日から8月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住所
石井 杜空 <small>とあ</small>	佑希 <small>ゆうき</small>	めぐみ <small>めぐみ</small>	7/27	末広町
穴澤 由渚 <small>ゆいな</small>	利明 <small>としあき</small>	恵子 <small>けいこ</small>	7/28	桜木町



熱中症にお気をつけください。
こまめに水分を補給しましょう。



飲み物を持ち歩こう

随想リレー

-Vol. 406

お待ちかね!
あなたの出番です。



Kakinuma Masato

かきぬま まさと
柿沼 昌人さん(本町)

柿沼 昌人さん(前段中央)とスポーツ少年団の子どもたち

職業：会社員
趣味：美味しいお酒を飲むこと
ひっぱりハンティングRPG
※スマートフォン向けのロールプレイングゲーム
好きな言葉：雑草旋風
好きな食べ物：ウニ

「縁」

この度、原淳さんとご縁があり、随想リレーのバトンを受け取りました柿沼と申します。
埴町に生まれ四十数年になります。町内の小中学校を卒業後、埴町工業高等学校を卒業しました。その後、埴町振興公社に十数年勤務し、貴重な経験を積みました。
現在は、新たな仕事に就き、地元消防団やPTA役員の活動など、充実した日々を過ごしています。
そんな日々の中で楽しみなのが、小学4年生の娘が所属しているラフェックス女子ミニバス(※)の活動です。私は保護者の代表を務めています。子どもたちの練習中には口を出すことで煙たがられることもありますが、先生と呼ばれることもあります。いつも元気いっぱい練習する子どもたちからパワーをもらっています。
最近では新入団員も増え、益々、活動が盛んになってきました。バスケの基本などを戸惑いながらも必死に練習する姿を見ると「うちの娘や今の高学年の団員も、はじめはこんな感じだったなあ」と懐かしい気持ちになります。
また、出来なかったプレーが出来るようになったときのキラキラした笑顔を見ると、サポートしてきて良かったと心から思います。

子どもたちには「みんな大丈夫。教えられたことをコツコツと積み上げていけば、絶対に上手になる」「先に入団している団員の子たちは、気を使うことなくもつと積極的にプレーしていいんだよ」と伝えていきます。
みんなやればできる子どもたちです。学校生活や、宿題もあって大変なときもあるけど、楽しく元気にバスケにも取り組んでほしいと思います。
娘がバスケを始めなければ出会えなかった子どもたちとの縁、卒団していった子どもたちとの縁、コーチの皆さんとの縁、保護者の皆さんとの縁、そして新参者だったときに私にご指導いただいた保護者OBの皆さんとの縁を大切に紡いでいきたいと思います。

※ミニバスケットボールの略。通常のバスケットボールよりも小さいボールや低いゴールなどで行われる球技。
今回は天沼 結さん(宮田町)です。

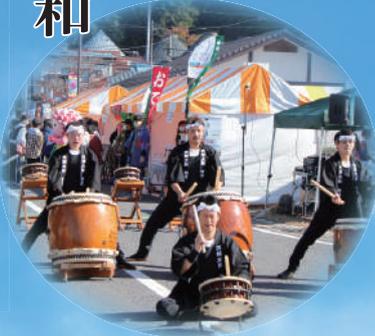




9月24日(日) 午前9時〜午後3時30分

はなわの秋まつり

つなげよう人の和花の和感謝の和



※雨天決行

■ 休日の当番医

9月3日(日)	東館診療所 ☎46-2312	9月23日(土・祝)	車田病院 ☎43-1019
9月10日(日)	和田医院 ☎33-2012	9月24日(日)	おおひら整形外科 ☎33-9468
9月17日(日)	大木医院 ☎33-2424	10月1日(日)	埴厚生病院 ☎43-1145
9月18日(月・祝)	深谷クリニック ☎33-3223	10月8日(日)	木村医院 ☎46-3528

■ 町の人口 8,034人(8月1日現在)
 男性3,983人(-11名) 世帯数3,291(-10)
 女性4,051人(±0名) ※()内は前月比
 ※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

■ 今月の納税など
 固定資産税 3期
 国民健康保険料 3期
 介護保険料 3期
 後期高齢者医療保険料 2期
 上下水道料金 9月分
 納期限 10月2日(月)

■ 口座振替日は9月25日(月)です



埴町のSNS

編集後記
 今年の流灯花火大会は、昨年以上に多くの人々で賑わっていました。少しづつですが賑わいを取り戻しつつあるようです。花火は夏を感じさせるだけでなく、老若男女問わず人々が同時に同じものを見て笑顔になります。花火に照らされた人々の笑顔に、町の未来を感じました。改めて流灯花火大会を始めてくれた先人達に感謝の念をいただくともいえないと思います。
 今年も昨年に引き続き、秋祭りが開催されます。初めての開催となった昨年は、多くの人々で賑わい、たくさん笑顔が溢れました。時代とともに祭りの形は変わりますが、人と人のつながりは変わりません。人と人がつながり笑顔が生まれ、笑顔が広がっていくことで、埴町の明るく未来が生まれる、そんなことを感じられる楽しいひとときになれば素晴らしいと思います。ぜひ秋祭りにお越しください。(わりなし)

発行・編集 埴町役場 〒963-1549
 まち振興課 福島県東白川郡埴町大字埴字三丁目21番地
 印刷 佐藤印刷所 FAX(02447) 43121137